

# どうする家康 浜松

## 大河ドラマ館

2024年  
1月14日(日)まで

入館料 大人 800円 / 小人 400円

※障がい者手帳または療育手帳保持者および付添人(1名)、未就学児は無料

### スペシャル体験 コンテンツ&フотスポット

「どうする家康」の映像世界を楽しむことができるデジタル体験コンテンツや、キャストの等身大パネルと写真が撮れるコーナー。

### 体感!「どうする家康」の世界

登場人物のご紹介や衣装・小道具のほか、実際の撮影で使用されたセットを展示!「家康たちがいた当時の浜松城」の雰囲気再現。大スクリーンではドラマで登場した風景も。迫りくる武田の脅威や「三方ヶ原の戦い」など時代背景や、ドラマ制作の舞台裏を詳しく紹介。

### いざ、浜松城へ

ドラマに登場する浜松城城門を再現!城門をくぐったその先はもう浜松城。

### ようこそ 「浜松 大河ドラマ館」へ

松本潤さんの大判ビジュアルやwelcomeメッセージでお出迎え。「どうする家康」の番組概要もご紹介。

### 4Kシアター

出演者インタビューやメイキング映像を交え、ドラマのテーマを深掘り。浜松でしか見られないオリジナル映像を240インチの大スクリーンで!

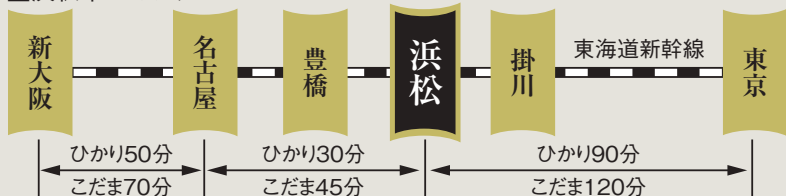
### 企画コーナー&エンディング

企画展示や、華やかな出演者のみなさんのサイン色紙を展示。

## 「砦」テイストの内装で、家康公が 在城していたころの浜松城内を再現

「迫りくる武田の脅威」や、武田信玄に大敗北を喫した「三方ヶ原の戦い」など、浜松ならではのエピソードの紹介や実際に撮影で使用されたセットの一部などを展示。ほかにも、出演者のサイン色紙や大河ドラマに登場する衣装・小道具の展示、出演者独占インタビューや撮影風景映像など浜松 大河ドラマ館でしか見られないスペシャル映像作品を上映。また、出演者の等身大パネルと記念撮影できるスポットやドラマ映像を楽しむことができる体験コンテンツも設置。

### ■浜松市へのアクセス



# 装いは音楽の街を象徴する ピアノブラック

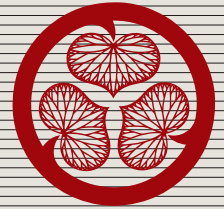


ドラマに登場する浜松城門(再現)をくぐれば、一気にドラマの世界へ。装テイストの内装で、家康公が在城していた頃の浜松城内を再現しています。

大河ドラマどうする家康 浜松大河ドラマ館は、施設をゼロから建設しました。光沢のある黒い外壁は、浜松の主要産業の一つであるピアノをモチーフとしたデザインになっています。それは、ピアニスト稲本響さんが奏でるドラマのテーマ曲「暁の空」が聴こえてくるかのようにです。大河ドラマ館の中は、天井を高く設計し、ドラマの世界観をダイナミックに楽しめる大道具や、大迫力のスクリーンを展示。空間の広さを活かした、印象に残るコンテンツが揃っています。



浜松市の大河ドラマ館はゼロから建設



# 浜松瓦版

発行 / 浜松市観光・シティプロモーション課

## 地元タウン情報誌の編集部が発信 浜松大河ドラマ館の 見どころチエツク!

**見どころ 其の参**  
リアル感がスゴイ!  
実際の撮影で使用された  
セットを見るべし



浜松城の最前線基地「出丸見張り小屋」は、ドラマで実際に使用されたもの。屋根根の上の大きな石は発泡スチロールで作られています。見た目はまさに岩石。木材も経年劣化を感じられる加工が施されています。実物のように表現する大道具・美術の技を、間近で観察してみてください。

**見どころ 其の式**  
大迫力の290インチ!  
大型スクリーンで  
最新の映像技術を体感すべし

大河ドラマ「どうする家康」では、独特な映像技術も見どころの一つ。ハリウッドやディズニーでも活用されている最新のバーチャルプロダクション技術を使用しています。戦国時代の風景を作り出し、大迫力の合戦シーンなどが演出されています。大河ドラマ館では、築城時・平時の朝昼夜・戦時の朝昼夜の7場面を、290インチの大型スクリーンで体験できます。



**見どころ 其の参**  
お子さまと一緒にの来場なら、  
スペシャル体験  
コンテンツを楽しむべし

床に投影された文字「どうする」を踏むと、文字がカラフルにはじけて壁面に向かって飛んでいき、大河ドラマのタイトルバッグ映像に出てくる様々なモチーフが出てきます。お子さまはもちろん、大人の方も、ぜひ体験してみてください。



**見どころ 其の四**  
浜松でしか見られない!  
4Kシアターでドラマの  
テーマを深堀すべし

出演者インタビューやメイキング映像を、240インチの大スクリーンで楽しめます。上映10分間の「浜松へ」家康 天下人への足がかり」と、6分間の「ドラマと音楽」言葉にでき

ないものを曲に込めて」の2部構成。オープニングテーマ曲やサウンドトラックに込められたメッセージを読み解けば、これからの大河ドラマの視聴がもっと楽しくなるはず!

※リニューアルで浜松ならではの映像が更新されます

浜松城の東側に建設された「大河ドラマ館」。敷地全体は「浜松出世パーク」と名付けられ、広場やお土産ショップ、XR体験ができるスポットなど、楽しさ満載です。

# まだまだあるよ! 浜松出世パークの見どころチェック!



## オリンピック材を ふんだんに使用した 装飾に注目

浜松出世パーク内は、日本三大美林の一つである天竜美林をモチーフに、装飾が施されています。天竜杉はサステナブルな素材として世界的に注目を集めるFSC認証材。よく見ると、「USED IN VILLAGE PLAZA」との刻印が! 東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村で使用されたレガシー材です。ここで使用されているのは35立米! 家1軒分の木材が使われています。

ゲートをくぐり広場「浜松出世パーク」へ進むと、東西に少し長い楕円形の芝生広場があります。随所に家康公時代の浜松城を学べるパネルが設置されているので、当時の浜松城を想像しながら、ぐるりと散歩をお楽しみください。実は、この広場は三つ葉葵で知られる徳川家の家紋をイメージして造られており、浜松城天守閣から広場を見おろすと、楕円形ではなく美しい円形の葵紋に見えるように設計されています。ぜひ写真におさめてみてください。



## 天守閣から見下ろせば、 立派な葵紋が出現!

## 令和2年度の調査で明らかに! 本丸北東隅の石垣

元城小学校の本館と南館の間にあった中庭を掘り起こしたところ、旧浜松城石垣の一部が発見されました。隅角部を検出できたことで、本丸の規模が明らかになり、CGで復元するための貴重な手掛かりに。「野面積み」と呼ばれる技法から、家康公の関東移封後に城主を務めた堀尾吉晴が1590〜1600年頃に築いた石垣と想定できます。



堀尾氏領有期(1590年代)の浜松城CG復元図。○印の箇所が発見された。

## 理解が深まる! XRで戦国時代を リアルに体感

アプリを使い、指定場所でスマートフォンをかざすと、大河ドラマ館の敷地となっている「二の丸御殿」、「枯山水庭園」をARで見ることが出来ます。また、歴史体験型XRストーリー「三方ヶ原の戦い」の公開も開始。迫りくる武田軍や家康公の決断などの名場面が体験できます。浜松城では、当時の浜松城全景から御殿内での軍議の様子、天守門などをVRで楽しめます!



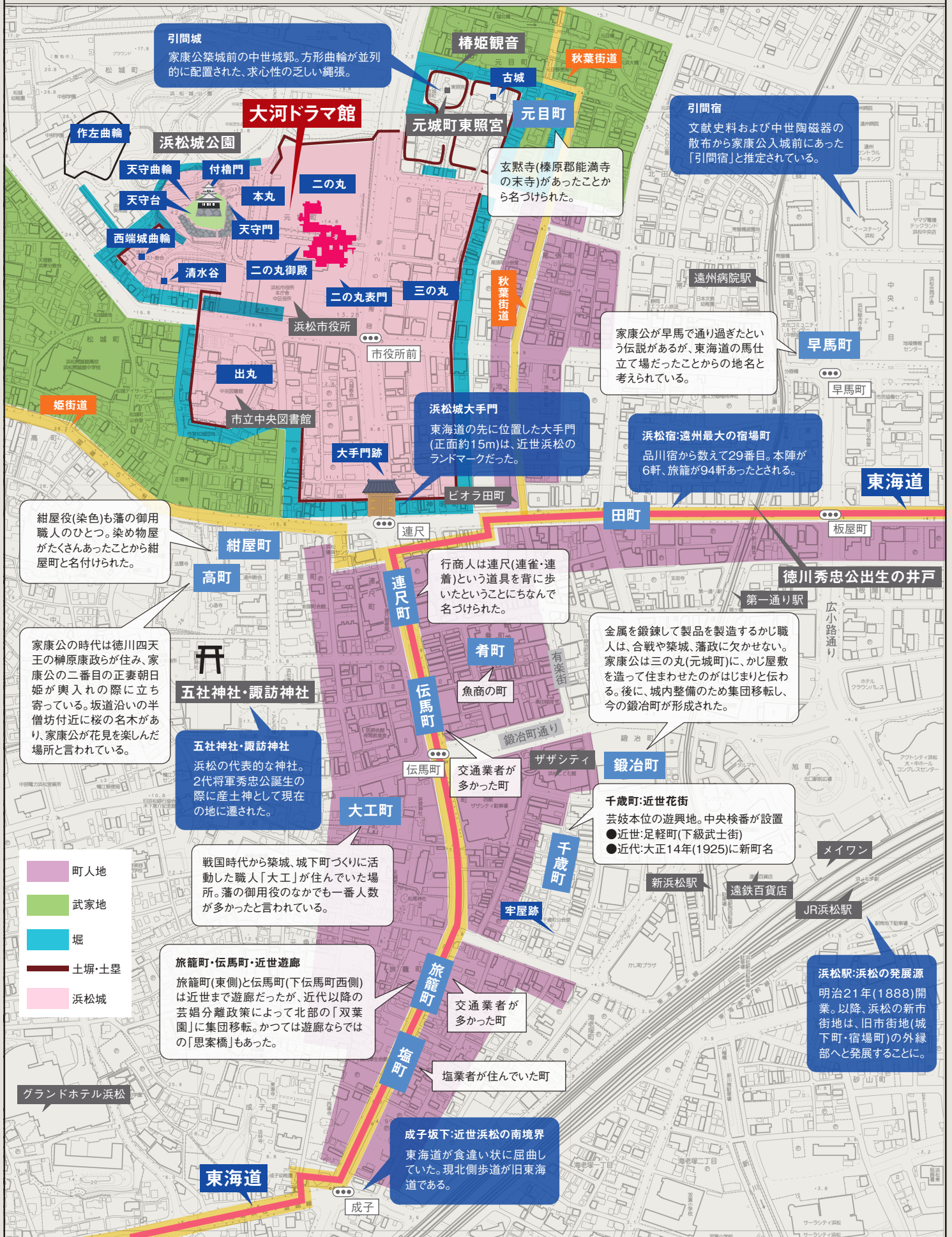
## 「出世の街 家康SHOP」には 100社550商品がずらり

浜松の特産品やお土産などを販売するショップ。多くの地元企業が相次ぎ新商品を投入。プレオープン時には87社420商品だったところ、グラントオープン時は更に拡大し、100社550商品を販売しています。手頃なお菓子類は特に人気ですが、主演松本潤さん監修の大河ドラマグッズや浜松市限定商品など、プレミアムアイテムも見逃せません。天竜ひのきを使った家紋ストラップなど、カプセルトイも好評です。



# 図解! 当時の城下町にタイムスリップ

中世~近世浜松城時代の浜松城周辺を再現。城下町・宿場町を思い浮かべながら、浜松城周辺を散策してみよう!



**引間城**  
家康公築城前の中世城郭。方形曲輪が並列的に配置された、求心性の乏しい縄張。

**椿姫観音**  
元目町  
古城

**引間宿**  
文献史料および中世陶磁器の散布から家康公入城前にあった「引間宿」と推定されている。

玄黙寺(榑原郡能満寺の末寺)があったことから名づけられた。

家康公が早馬で通り過ぎたという伝説があるが、東海道の馬仕立て場だったことからの地名と考えられている。

**浜松宿:遠州最大の宿場町**  
品川宿から数えて29番目。本陣が6軒、旅籠が94軒あったとされる。

**浜松城大手門**  
東海道の先に位置した大手門(正面約15m)は、近世浜松のランドマークだった。

紺屋役(染色)も藩の御用職人のひとつ。染め物屋がたくさんあったことから紺屋町と名付けられた。

行人は連尺(連雀・連着)という道具を背に歩いたということにちなんで名づけられた。

金属を鍛錬して製品を製造するかじ職人は、合戦や築城、藩政に欠かせない。家康公は三の丸(元町)に、かじ屋敷を造って住ませたのがはじまりと伝わる。後に、城内整備のため集団移転し、今の鍛冶町が形成された。

**五社神社・諏訪神社**  
浜松の代表的な神社。2代将軍秀忠公誕生の際に産土神として現在の地に遷された。

**大工町**  
戦国時代から築城、城下町づくりに活動した職人「大工」が住んでいた場所。藩の御用役のなかでも一番人数が多かったと言われている。

交通業者が多かった町

**千歳町:近世花街**  
芸妓本位の遊興地。中央検番が設置  
●近世:足軽町(下級武士街)  
●近代:大正14年(1925)に新町名

**旅籠町・伝馬町・近世遊廊**  
旅籠町(東側)と伝馬町(下伝馬町西側)は近世まで遊廊だったが、近代以降の芸娼分離政策によって北部の「双葉園」に集団移転。かつては遊廊ならではの「思案橋」もあった。

交通業者が多かった町

塩業者が住んでいた町

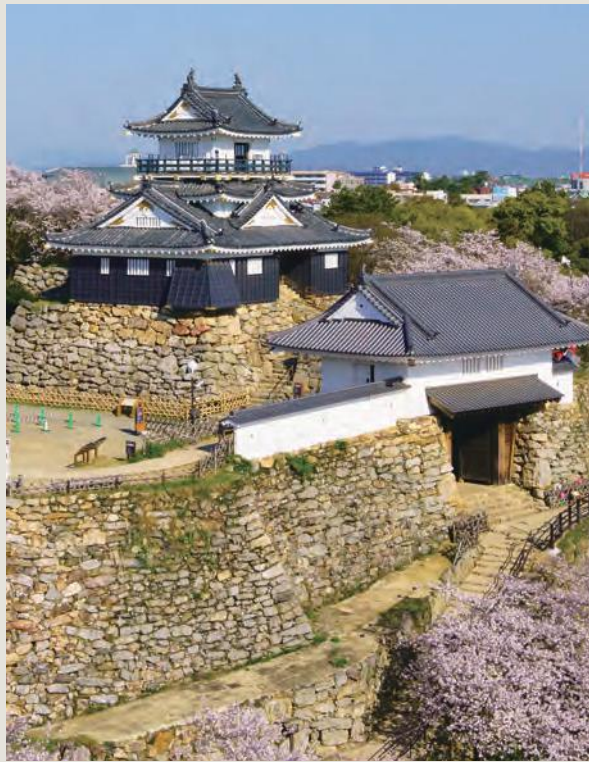
**浜松駅:浜松の発展源**  
明治21年(1888)開業。以降、浜松の新市街地は、旧市街地(城下町・宿場町)の外縁部へと発展することに。

**成子坂下:近世浜松の南境界**  
東海道が食いつきに屈曲していた。現北側歩道が旧東海道である。

町人地
武家地
堀
土堀・土塁
浜松城

# そうだったのか！ 見方が変わる 浜松城

見どころ  
其の貳



家康公が29〜45歳、17年間の若き頃を過ごし、天下統一の礎を築いた浜松城。江戸幕府300年の原点であるとともに、多くの歴代城主が幕府要職に登用されたことから、後に出世城と呼ばれるようになりました。市街地でありながら豊かな森に囲まれた公園は、浜松市のセントラルパークとして県内外問わず多くの人に親しまれています。浜松城には観光ボランティアガイドの会が常駐。10時から15時までの間に浜松城内を一緒に歩きながら解説してくれます。

## 歴史的興味が深まる 天守閣と天守門

城内には家康公と城下町浜松にまつわる資料、武具などが展示されています。天童杉を使って復元した高さ9.4m、幅11m、奥行き5mの巨大な天守門も見もの！

### 天守門の両側の 「鏡石」に注目！



鏡石は、城の大きさや城主の権力を表しています。門の上にある櫓には武器や食料を保管し、籠城戦になった際に攻めてくる敵をここから弓矢や鉄砲で迎え撃てるようになっています。

見どころ  
其の参

## 先人の知恵が詰まった見事な石垣

浜松城の石垣は複雑な形状を持ち、全国的にもとても珍しく価値があるとされています。石材は市内の大草山・根本山・湖西市知波田産の珪岩で、浜名湖や佐鳴湖の水路で運ばれたと言われています。



### 400年の雨風に 耐える強度がすごい！

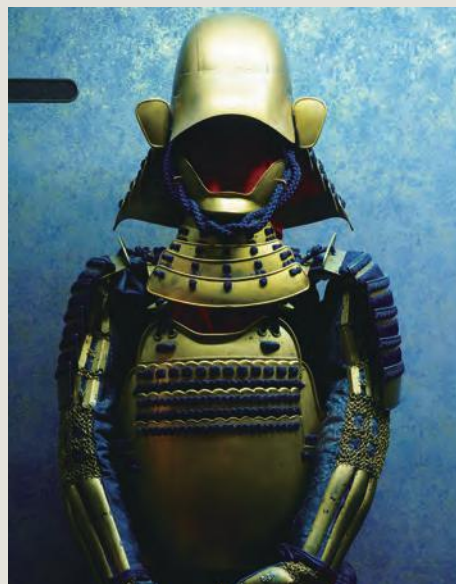
自然の石を加工せず、そのまま積み上げる野面積み。大きな面を表に小さな面を内側にして積まれており、隙間には銕石を入れて固定。背後には大量の栗石を詰めて強化するなど、多くの工夫がなされています。角部は長い石材の長辺と短辺を左右交互に振り分けて積む算木積み。これも強度を重視した積み方です。

### 防衛・攻撃に優れた 構造がすごい！

天守曲輪に残る石垣は、上半部だけに石が積まれており、鉢巻石垣と呼ばれています。随所に屏風折や出隅、入隅が見られます。これらの複雑な形状は、迫りくる敵に側面から攻撃を加えるためであり、死角をなくすことでより防御機能を高めています。

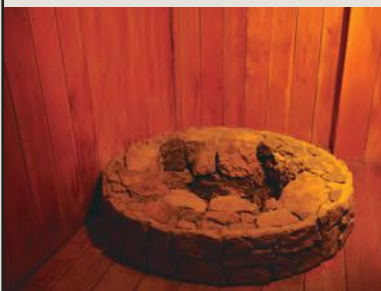
### 大河ドラマでお馴染み！金蛇美具足

19歳の家康公（松平元康）が着用したものと伝えられています。



### 籠城時の生命線！ 天守台地階にある 石組井戸

毒が盛られる危険性があるため、城内には複数の井戸を確保していたと言われています。



# 大河ドラマ館から徒歩で回ろう 家康公ゆかりの地

浜松城築城までの間、  
家康公が寝食を行っていた場所

## 元城町東照宮(引間城跡)



浜松市中区元城町 111-2

明治19年(1886)、浜松城の前身である引間城があった場所に創建された元城町東照宮。曳馬城跡と刻まれた史石碑や、社殿の扉・屋根に見られる三つ葉葵の紋所は、家康公を祭神とするお社であることを示しています。永禄 11年(1568)、三河から遠江に入った家康公は今川方の拠点であった引間城を攻め入城し、城地を拡大。名を浜松城と改めました。その後、引間城の跡地には米蔵十数棟が建てられたと言われています。

「椿のようなおなごになりたい」  
お田鶴を祀る場所

## 椿姫観音

椿姫は今川家の家臣で引間城主(現浜松城)だった飯尾連龍の正室、お田鶴の方のこと。夫亡き後、引間城の女城主となったが、家康公に抵抗したことで、城を攻め落とさ



浜松市中区元浜町 133

れ討ち死にした。その死を哀れに思った家康公が、お田鶴の方と侍女18人を祀った祠を建て、その周りに正室・築山御前が100本余りの椿を植えたことから、椿姫観音と呼ばれています。椿は毎年美しく咲き誇り、いつしか椿塚と呼ばれ、それが椿姫の名の由来になったと言われます。

家康公の三男秀忠公は  
浜松生まれで唯一の天下人!!

## 徳川秀忠公誕生の井戸



浜松市中区常盤町 遠州病院駅

家康公の側室 西郷局が秀忠公を生んだとき、この辺りにあった井戸水が産湯として使われたという伝承をもとに復元された井戸。秀忠公が誕生した天正7年(1579)の当時は、ここに下屋敷が構えられていました。秀忠公は江戸幕府2代将軍となる人物です。※出生地とされる場所は2説あり、もう1説は現在のクリエート浜松西側付近であり、新川交番北側に石碑が設置されています。

家康公が逆襲! 武田軍が  
次々に転落した深い崖

## 犀ヶ崖古戦場

三方ヶ原の戦いで大敗を喫し、命からがら浜松城にたどりついた夜、家康公は犀ヶ崖近くで野営する武田軍を急襲しました。地理に不案内な武田軍は混乱し、次々と犀ヶ崖の深い谷に転落。多くの命



浜松市中区鹿谷町25-10

を失ったと伝えられています。犀ヶ崖資料館の敷地内には、三方ヶ原の戦いで、武田軍の猛追撃から家康公を守るため、自ら殿(しんがり)をかつて出た、本多肥後守忠真の戦功の碑があります。

家康公を守った、  
伝説の御神木があるお社

## 浜松八幡宮



浜松市中区八幡町 2

勝運や立身出世・安産・長寿などの神様として「八幡さま」と親しまれる浜松八幡宮。境内にそびえるクスノキ「雲立の楠」は、根回り約15m、樹高約15mの巨樹で、樹齢1000年を超えます。幹の下部には大きな空洞があり、三方ヶ原の戦いで敗走してきた家康公はこの洞穴に逃げ込み、追手の難を逃れたと伝わります。その際、洞穴で一心に八幡神を拜すると、瑞雲が立ち昇り、神霊が白馬にまたがった老翁となって家康公を浜松城へと導いたという伝説があります。

家康公が弓の稽古に励んだお寺  
徳川方の武将たちが眠る

## 宗源院



浜松市中区蛸塚 1-20-1

宗源院は宝蔵山という曹洞宗のお寺です。境内には三方ヶ原の戦いの際に奮戦し討死にした成瀬正義や外山小作、遠藤右近など徳川方の武将のお墓があります。寺の東南一帯は、もとは宗源院の境内であり、家康公が弓の道場として設けた御的場馬場だったと伝わります。また宗源院には今川義元ら直筆の指定文化財「今川公判物」も保管されています。

こちらもCHECK!

## 家康の散歩道

家康の散歩道とは、「浜松」に今も残る徳川家康公ゆかりの地を歩いて巡るコースです。家康公の軌跡と戦国の歴史を感じながら、ゆっくりと歩いてみませんか。

### 城内・城下ルート

- ①浜松城 ▶ ②元城町東照宮 ▶ ③椿姫観音 ▶ ④浜松八幡宮 ▶ ⑤徳川秀忠公誕生の井戸 ▶ ⑥遠江分器稲荷神社 ▶ ⑦松尾神社 ▶ ⑧金山神社 ▶ ⑨五社神社・諏訪神社 ▶ ⑩浜松秋葉神社 ▶ ⑪浜松城出丸跡 ▶ ⑫家康公鎧掛松

### 合戦ルート

- ⑬本多肥後守 忠真の碑 ▶ ⑭犀ヶ崖古戦場 ▶ ⑮夏日次郎左衛門 吉信の碑 ▶ ⑯普濟寺 ▶ ⑰西来院 ▶ ⑱宗源院 ▶ ⑲浜松市博物館 ▶ ⑳太刀洗の池



浜松市中区三組町39

家康公が浜松城の裏鬼門に勧請した神社。井伊の赤備え発祥の地

元亀元年(1570)、三河の岡崎城から浜松城に移った家康公が、浜松市の北部(春野町)にある秋葉神社の総本山から勧請して創建。井伊直政のもとで、「井伊の赤備え」を結成した武田家の旧臣が、ここに血判状を奉納したと伝えられています。火の神様として有名で、縁結び・家内安全・子宝・子育て・子孫繁栄の神様をお祀りしています。



徳川軍が武田軍に、わずか2時間で大敗！  
家康公人生最大の負け戦  
三方ヶ原古戦場



浜松市北区根洗町

三方ヶ原は、浜松にある台地。元亀3年(1572)、上洛を目指す武田軍と徳川軍が激突した場所です。武田軍2万7000人に対し、徳川軍は半分にも満たない1万1000人。兵の数、さらには軍術でも劣る徳川軍は総崩れ。家康公はなんとか浜松城へ逃げ帰ることができたものの、人生最大の敗戦となりました。現在、浜松市菅三方原墓園の駐車場の片隅に三方ヶ原古戦場碑が立てられています。

## 豆知識 東京の秋葉原の誕生由来

かつて江戸は火事が多い町でしたが、明治2年(1869)に起きた大火事の際、被害を憂慮した明治天皇が焼け野原に「鎮火社」を築きました。人々はこの鎮火社を、江戸時代に火防の神として全国から広く信仰を集めていた秋葉大権現が勧請されたものと思い、「秋葉様」「秋葉さん」と呼んだそうです。また明治天皇は火事後の焼け野原を火災時の緩衝地帯としたため、人々はこの空を「秋葉の原」「秋葉っ原」と呼んだとも言われています。



浜松市北区細江町気賀 4577

まるで江戸時代にタイムスリップ！  
家康公により設置された気賀関所の跡地

慶長6年(1601)家康公によって創設された関所で、箱根・新居と並ぶ、東海の三大関所の一つ。関所の目的は、『入鉄砲に出女』の監視が主要任務。鉄砲が江戸に持ち込まれることや、人質として江戸に住まわせていた大名の妻子などが国元へ逃げ帰るのを防ぎました。現在の建物は江戸時代の文献などを参考に復元されたもの。冠木門、本番所、牢屋まで忠実に再現されており、中に入ることも可能です。



浜松市天竜区二俣町二俣 990

徳川と武田が攻防を繰り返した山城  
家康公の息子「信康」が自害した場所  
二俣城跡

永禄11年(1568)、今川氏の滅亡以後、二俣城と鳥羽山城は家康公が領有していましたが、三方ヶ原の戦いがあつた元亀3年(1572)、二俣城は武田信玄によって攻略されました。その後、長篠の戦いがあつた天正3年(1575)まで、徳川氏と武田氏が二俣城をめぐる激しい戦いを続けます。徳川方は鳥羽山城に本陣を置き、武田方にあつた二俣城を攻め、奪回しました。現在は野面積みの石垣を残す天守台や、大手門・堀跡などが残っています。



浜松市西区雄踏町宇布見4912

新鬼武者の主人公家康公の第二子、  
結城秀康が産まれた屋敷  
中村家住宅

永禄11年(1568)に家康公が遠江に入国した時、中村家18代正吉は船を出して迎えるなどの御用を果たし、その後は徳川氏に仕え今切軍船兵糧奉行や代官を勤めました。こうした関係から家康公の側室お万の方は、家康公の第二子である於義丸(後の結城秀康)をこの屋敷で出産。その時の後産を埋めた袍衣塚(えなづか)が現存しています。主屋は、国の重要文化財に指定されています。

## 豆知識 家康公の悲しき試練を感じます

家康公と築山殿の子である信康は今川氏が討たれると、岡崎城に移りました。家康公は信長と信州同盟を結び、信康は信長の娘である徳姫と結婚。家康公が浜松城に移ると、信康は岡崎城代となりました。しかし徳姫が信長に「築山殿が武田と内通している」と伝え、信長は激高。家康公に築山殿と信康の処刑を命じました。家康公は信長との同盟を優先し、身を切る思いで従うことに。築山殿は佐鳴湖畔で殺害され、信康は二俣城で自害しました。

## TOPICS 徳川家繁栄には女性が大きく関わっていた！

家康公には献身的に支えるたくさんの女性と子どもがいたと伝えられています。その数は正室2人と側室15~19人ほどいたと言われており、青年期から老年にかけてたくさんの子供を作ったそう。側室の中には鷹狩にも参加し、戦場にも共する心身ともに堅固な才女もいたと言われていました。厳しい戦国時代を勝ち抜き、長い徳川の時代を築いた背景には、強き女性の力が大きく関わっていたと言われていました。



才色兼備で知られている側室・阿茶の局を預けていた「鈴木家住宅」。家康公は鷹狩りの帰りにたびたび立ち寄ったそう。

# 女城主 直虎の舞台

# 井伊直虎 ゆかりの地

井伊直政の母の出身、奥山家ゆかりの寺  
家康公が三河から遠州に進出の際、一休みした場所  
**大本山方広寺**

南北朝時代の1371年に、後醍醐天皇の皇子無文元選禪師によって開創された東海屈指の名刹で、禅宗臨濟宗方広寺派の大本山。境内には国重要文化財の釈迦三尊、七尊菩薩堂や五百羅漢があります。永禄11年(1568)、徳川家康公が岡崎城から今川領の遠江国へ侵攻した道中に立ち寄ったことが伝えられています。方広寺のほど近く陣座峠と呼ばれる峠道がありますが、徳川家康公が陣を敷いたことに由来しているといわれています。また、後に浜松城主となった家康公は天正8年(1580)に方広寺の寺領安堵を約束。その書面には家康公自らの署名がなされており、現在でも保管されています。



浜松市北区引佐町井伊谷 1989

家康公に仕え「井伊の赤鬼」と呼ばれた  
徳川四天王 井伊直政が眠る井伊家の菩提寺  
**龍潭寺**

奈良時代に行基によって開創され、平安時代から井伊家の菩提寺であった龍潭寺。井伊直虎が出家し、第二代住職 南溪和尚によって「次郎法師」の名を与えられ、修行をした場所です。本堂を中心に、西側の稲荷堂・開山堂、北側の井伊家御霊屋など、江戸時代に建てられた由緒ある建物内には、貴重な文化財を多数所蔵しており、井伊家拝領の品々も見ることができます。また、庭園は国指定名勝として知られ、四季折々にうつろう庭園を本堂から眺めることができます。井伊家の起源と繁栄を見守り続けてきた龍潭寺。井伊家を知るうえで欠かせない古刹です。



徳川四天王の筆頭・直政をはじめ、直政の養母であった直虎や、幕末の大老・直弼など、井伊氏歴代の菩提が祀られている寺。東海一の名園と称される、国指定名勝「龍潭寺庭園(池泉鑑賞式庭園)」や多くの文化財を有しています。



浜松市北区引佐町井伊谷 1881-9

徳川幕府に大きく貢献した井伊家。  
その歴史の始まりは、この井戸にあった!?  
**共保公出生の井戸**

龍潭寺の南、田園のかたわらにある、白壁に囲まれた大きな石組み井戸。平安時代の西暦1010年、井伊家の初代、共保が誕生したと伝わります。古来より水の湧き出る所は神聖視されており、井伊家の歴史はここから始まります。井伊家は徳川家と深い関係があり、徳川幕府にも大きく貢献。家康公ゆかりの地ともいえる場所です。

戦国時代の国人領主、松下氏が居を構えた場所  
徳川四天王 井伊直政が幼少期に暮らした屋敷  
**松下屋敷跡(頭陀寺城跡)**

**頭陀寺**は飛鳥時代に建立された古寺で、戦国時代は今川氏の保護を受けて繁栄。引間城の飯尾家に仕えていた松下家の館跡と伝わります。直政の母の再婚相手である松下清景は松下家の一門で、幼い直政(虎松)を養子に迎えました。松下氏のはからいもあり、凛々しい虎松は家康公に謁見。小姓にとりたてられます。華々しく活躍し、後に徳川四天王へと大出世しました。またこの屋敷には、幼少期の豊臣秀吉も奉公していたという記録が残っています。



浜松市北区引佐町奥山1577-1

頭陀寺は飛鳥時代に建立された古寺で、戦国時代は今川氏の保護を受けて繁栄。引間城の飯尾家に仕えていた松下家の館跡と伝わります。直政の母の再婚相手である松下清景は松下家の一門で、幼い直政(虎松)を養子に迎えました。松下氏のはからいもあり、凛々しい虎松は家康公に謁見。小姓にとりたてられます。華々しく活躍し、後に徳川四天王へと大出世しました。またこの屋敷には、幼少期の豊臣秀吉も奉公していたという記録が残っています。

この地と関りが深い豊臣秀吉・徳川家康・井伊直政の3人の像が設置されている。



浜松市南区頭陀寺町

**TOPICS** 家康公は名づけ名人! 浜松には家康公にまつわる地名や苗字がいっぱい!

**小豆餅**  
あずきもち  
銭取  
ぜにとり

三方ヶ原の戦いで大敗した家康公は浜松城に逃げ帰る途中、道端の茶屋で小豆餅を食べた場所が「小豆餅」。そこに武田軍の追っ手がやってきて、慌てて逃げ出しますが、食い逃げだと思った茶屋の老婆が家康公を追いかけ、銭を徴収した場所が「銭取」という地名になったと言われています。

**小粥**  
おがひ  
白尾  
しらお

こちらも三方ヶ原の敗走中、空腹に耐えきれなくなった家康公は、ある農家に飛び込み食べ物と、お粥をもらいました。家康は天下を取ったあと、その老夫婦にお礼にと「小粥」の姓を与えたと伝わります。また、家康公が浜松八幡宮の洞窟に身を隠したとき、家康公の乗馬の白い尾が洞窟の外に出ていました。それに気づいた付近の農民が家康公にそれを教えたため、尾を隠して上手く逃られたと言われています。後に家康公はこの農民にお礼として「白尾」という名字を授けたそうです。



# 産業から自然まで 見どころいっぱい! 浜松観光スポット

## 中田島砂丘

### 大自然が作り出すアートに注目! 日本三大砂丘のひとつ



浜松市南区中田島町

遠州灘から吹く風「空っ風」により生み出された風紋は、風の強さや向きによって、まるで生き物のように変化し、芸術的な曲線を描きます。冬の朝は特に美しい光景が見られます。夏にはウミガメが上陸して産卵。地元NPOが保護し、ふ化後に子ガメを海に返しています。

## 弁天島海浜公園

### 浜名湖の真ん中で愛を叫ぶ? 赤鳥居 × 夕日で神秘的なシーンを激写



浜松市西区舞阪町弁天島 3775-2

浜名湖と太平洋をつなぐ200mの切れ目「今切口」に臨む弁天島海浜公園。その目の前にそびえる、赤い鳥居の形をした弁天島のシンボル。秋から冬にかけて見られる、鳥居の間に夕日が沈んでいく姿は神秘的で、カメラを抱えた多くの人が訪れます。

## はままつフラワーパーク

### 大自然が作り出すアートに注目! 日本三大砂丘のひとつ



浜松市西区館山寺町 195

四季の美しい花々を観賞できる植物園。季節ごとに展示が入替る大温室「クリスタルパレス」や、音楽と水のハーモニーが美しい大噴水ショー、園内を1周できるフラワートレインなど、魅力満載です。

## 浜松まつり会館

### 江戸時代から続く、市民参加型の 都市まつり「浜松まつり」を疑似体験



浜松市南区中田島町 1313

浜松まつりは、今から450余年前の永禄年間(1558~1569年)、浜松を治めていた引馬城主 飯尾豊前守の長男誕生を祝い、風揚げをしたことが始まりと伝わります。浜松まつり会館では、臨場感あふれる音と光と映像で、浜松まつりを模擬体験できます。おまつりに使用する4m四方の実物の大凧や御殿屋台の展示、凧糸製造室の見学もできます。

## 航空自衛隊浜松広報館 エアパーク

### 全国でここだけ! 航空自衛隊唯一のテーマパーク



浜松市西区西山町無番地

「見て、体験して、楽しむ」がテーマの航空自衛隊広報館。戦闘機のメカニズム紹介、全天候シアター、動揺型フライトシミュレーターなど見どころ盛りだくさん。旧日本国政府専用機(B747-400)の貴賓室が展示やブルーインパルスコーナーも。10月に開催されるエアフェスタでは、市内各所でブルーインパルスの飛行を見ることができ、多くの観客で賑わいます。

## うなぎパイファクトリー

### 浜名湖名産「うなぎパイ」の 製造工程を見学しよう!



浜松市西区  
大久保町 748-51

春華堂の「うなぎパイ」といえば、いまや日本中に知られている浜松のシンボルのお菓子。伝統と匠の技が生む、こだわりの菓子づくりを、入場無料で楽しめます。予約不要の自由見学、コンシェルジュのご案内付きツアー、焼き立てのうなぎパイを食べられる「窯出しうなぎパイツアー」があります。

## TOPICS

### エヴァ「第3村」のモデル天竜二俣駅 ゆりかもめの大群と会える浜名湖佐久米駅など…

### 見どころ満載のローカル列車

天浜線の愛称で親しまれている天竜浜名湖鉄道。掛川駅(掛川市)から新所原駅(湖西市)まで、浜名湖の北岸を通る全長67.7km・全39駅の路線です。国登録有形文化財の転車台と扇形車庫が現存する天竜二俣駅や、冬になるとゆりかもめがやってくる佐久米駅、詩歩の「死ぬまで行きたい!世界の絶景」の1つとして紹介されている都田駅など、見所がたくさんあります。



# 海の幸からB級グルメまで! おいしいものいっぱい 浜松グルメ



## 浜松餃子

浜松人のソウルフード!  
餃子購入額はトップクラス

円形に焼き上げ、茹でもやしを添えた野菜中心のあっさりとした浜松餃子。皮が薄くあっさりしているのが特徴です。老若男女問わず愛されており、餃子を扱う店舗数は300店舗以上と全国屈指! お店ごとに独自のこだわりで販売されているので、色々な種類の餃子を食べ比べしてみるのも楽しみです。



## 浜名湖うなぎ

関東風と関西風の  
食べ比べを楽しんで!

浜名湖畔の池で養殖が始まって100年以上、今や全国有数のブランドうなぎとして、その名を轟かせている「浜名湖うなぎ」。豊かな自然に囲まれた土地でじっくりと成長したうなぎは、臭みがなくうま味が凝縮。肉厚でふっくらとした食感、脂の乗りの良さがたまらない逸品です。



## みかん

甘みが濃縮された  
絶品フルーツ

浜松市の代表的な果物は、皇室にも献上されるみかん。日照時間が全国トップクラスの温暖な気候と水はけの良い土壌は、みかん栽培に最適です。「三ヶ日みかん」をはじめ、糖度が高くコクのある味わいで、ジュース・スイーツなどの加工品もオススメです。



## 年間の日照 時間は全国1位



生産される作物数は177種!

## トリビア3 農業王国

恵まれた自然環境により、豊かな食材が育まれる浜松市。耕地面積は市民1人当たり約48坪の計算になり、静岡県内一の広さを誇ります。また、浜松の年間平均気温は16.3℃、年間の日照時間は2,460.6時間と全国1位! 温暖な気候も幸いし、農家の数は全国一位となっています。



北遠地域には「天竜美林」と呼ばれる林が広がり、スギやヒノキなど国内有数の良質な木材が産出される地域でもあります。



## トリビア2 面積

浜松市

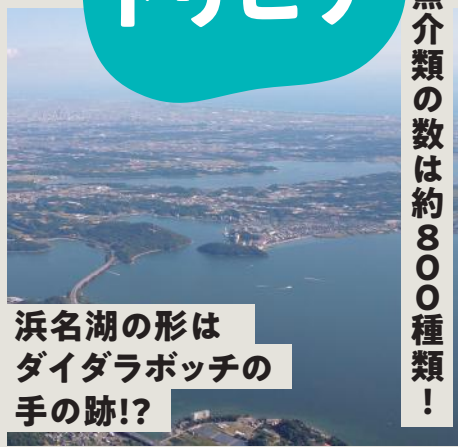
## 日本で2番目に 大きな市

浜松市の面積は約1,558km<sup>2</sup>。岐阜県の高山市に続く全国第2位の広さを誇る政令指定都市です。

ホントに!? ビックリ!

## 浜松 トリビア

魚介類の数は約800種類!



## 浜名湖の形は ダイダラボッチの 手の跡!?

## トリビア1 浜名湖

日本で10番目、70.4km<sup>2</sup>の面積を誇る大湖。明応7年(1498年)の大地震と津波によって遠州灘となつながら、淡水と海水が混ざり合う「汽水湖」としても知られています。今切口より外海と繋がっているため、湖とは思えないほどの多種多様な魚介が確認されており、その数は約800種類! まさに、海の幸の宝庫です。ダイダラボッチが転んでついた手の跡に水がたまり、「浜名湖」ができたという言い伝えが残っています。

## ものづくり都市 浜松を支える 産業王国 「やらまいか精神」

楽器やオートバイ、光・電子産業など、日本の産業を支える浜松市。偉大な起業家を多数排出し、「YAMAHA」「KAWAI」「SUZUKI」等の世界ブランドが圧巻しています。浜松市を象徴する言葉として「やらまいか」という方言があります。これは「やってみよう」「やってみようじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表します。

